

となりの地域はどうしてる？

ノウハウ共有のための 防災ウォッチング



お問い合わせ 市民部 市民安全課 (近江庁舎)
☎52-6630 ☎52-6930

JR北陸本線の坂田駅周辺に広がる宇賀野区は、約300世帯の比較的大きな自治会です。

この宇賀野区では、「宇賀野の日」の愛称で夏まつりやウォークラリーなど区民が触れ合うイベントを毎年開催されています。そして第33回目を迎える今年の宇賀野の日は、東日本大震災をきっかけとして初めて「防災運動会」に取り組まれることになりました。

「区長に就任したときが震災直後で大変な時期だったため、今年はずい

テント設営も競技のうち！

絆を高める
防災運動会

宇賀野区
(302世帯・人口880人)

とも防災に力を入れたいと考えていました。例年9月に行っている防災訓練と宇賀野の日を同時開催することで、効果的に区民の防災意識を高めることができばと思っています」と語ってくださったのは、区長の川崎光男さん。

「絆運動会」と命名されたこの運動会は、6月の骨格づくりが始まって、役割分担などを行いながら準備が進み、防災部長・社会部長をはじめ、体協や文協委員のみなさんがプログラムに工夫を凝らされました。

例えば、「テントを建てて！」の競技は、避難所を開設することを想定しスムーズにテント設営ができるよう訓練を兼ねたもの。もちろん「テントを片付けて！」もあって、資材を適切に撤収する方法も競技の一環として学びます。

また、災害時に大きな声で助けを呼べるようにと、騒音計を活用した「大声大会」や、毛布や青竹など身近な資材を活用しながら素早く担架を作って搬送することを競う「毛布担架ラリー」なども企画されました。

さらに当日は、避難訓練や消防署の講習、車椅子を利用した村めぐりのウォークラリーも予定されていて、防災をキーワードにした盛りだく

んの一日です。

「昼食には炊き出しでおにぎりを作るほか、乾パンを食べることも予定されていて、大きな災害が自分たちにも起こりえることとして実感する機会になればと考えています。また、いざというときお互いに助け合うことはもちろん大切ですが、まずは自分自身の身を守らなければなりません。今回の訓練が区民一人ひとりの意識の底上げにつながることを願っています」と区長さん。

絆運動会の開催日は、10月16日の曜日。みなさんの自治会でも、参考にされてはいかがでしょうか。



区長さんのお手製ちらし